

## さいたま市感染症発生動向調査(週報)

2022年第44週(10月31日～11月6日)

### ■全数把握対象疾患(結核、新型コロナウイルス感染症を除く。)

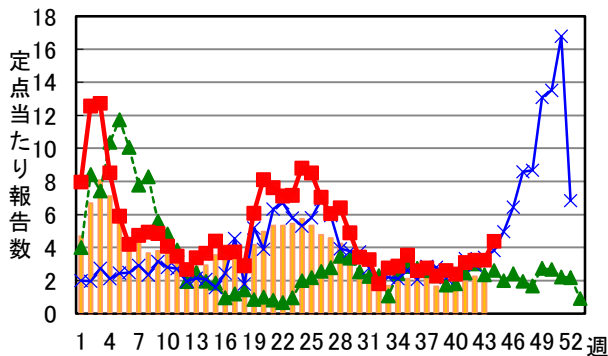
第44週 受理分	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症1件(類型:患者、血清型:不明)
五類感染症	急性脳炎1件(病原体:新型コロナウイルス) 梅毒1件(病型:早期顕症梅毒Ⅱ期) 播種性クリプトコックス症1件

### ■定点把握対象疾患【報告数が上位の疾患】

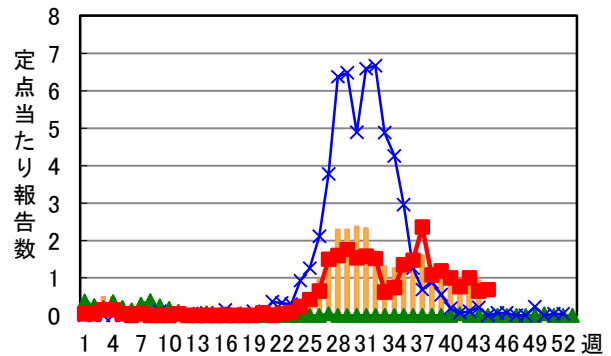
※その他の定点把握対象疾患は、「感染症発生動向調査 週情報(患者報告数、定点当たり報告数、年齢階級)」をご覧ください。

順位	疾患名	定点当たり患者報告数		2週間前からの傾向	過去5年間の同時期との比較
		今週	前週		
①	感染性胃腸炎	4.38	3.23	増加	例年並み
②	RSウイルス感染症	0.69	0.65	横ばい	多い
③	手足口病	0.50	0.85	減少	例年並み
④	水痘	0.27	0.27	横ばい	例年並み
④	突発性発しん	0.27	0.15	横ばい	少ない

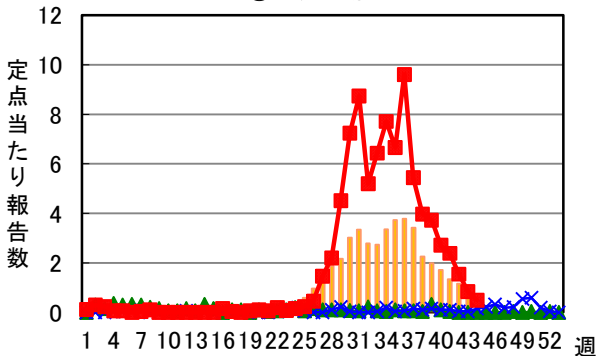
①感染性胃腸炎



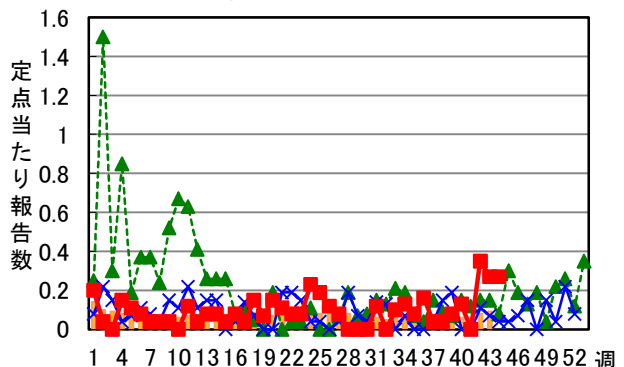
②RSウイルス感染症



③手足口病



④水痘(みずぼうそう)



--▲-- さいたま市 2020年    
 —×— さいたま市 2021年    
 —■— さいたま市 2022年    
  全国 2022年

## 全数把握対象疾患届出数(2022年)

類型	疾患名	2022年 第44週 受理分	2022年 累計 ※1	2021年 累計 ※1,2	疾患名	2022年 第44週 受理分	2022年 累計 ※1	2021年 累計 ※1,2
一類	エボラ出血熱	0	0	0	ペスト	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	マールブルグ病	0	0	0
	痘そう	0	0	0	ラッサ熱	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0				
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	中東呼吸器症候群(MERS)	0	0	0
	結核 ※3				鳥インフルエンザ(H5N1)	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	鳥インフルエンザ(H7N9)	0	0	0
	重症急性呼吸器症候群(SARS)	0	0	0				
三類	コレラ	0	0	0	腸チフス	0	0	0
	細菌性赤痢	0	0	0	パラチフス	0	0	0
	腸管出血性大腸菌感染症	1	19	21				
四類	E型肝炎	0	7	6	東部ウマ脳炎	0	0	0
	ウエストナイル熱	0	0	0	鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)	0	0	0
	A型肝炎	0	0	1	ニパウイルス感染症	0	0	0
	エキノコックス症	0	0	0	日本紅斑熱	0	0	0
	黄熱	0	0	0	日本脳炎	0	0	0
	オウム病	0	0	0	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0
	オムスク出血熱	0	0	0	Bウイルス病	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	鼻疽	0	0	0
	キャサヌル森林病	0	0	0	ブルセラ症	0	0	0
	Q熱	0	0	0	ベネズエラウマ脳炎	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	発しんチフス	0	0	0
	サル痘	0	0	0	ポツリヌス症	0	0	0
	ジカウイルス感染症	0	0	0	マラリア	0	1	0
	重症熱性血小板減少症候群	0	0	0	野兔病	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	ライム病	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	リッサウイルス感染症	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	リフトバレー熱	0	0	0
	炭疽	0	0	0	類鼻疽	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	レジオネラ症	0	13	14
つつが虫病	0	0	0	レプトスピラ症	0	0	0	
デング熱	0	1	0	ロッキー山紅斑熱	0	0	0	
五類	アメーバ赤痢	0	5	5	侵襲性肺炎球菌感染症	0	13	20
	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	0	3	2	水痘(入院例に限る)	0	2	2
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	0	7	13	先天性風しん症候群	0	0	0
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	0	0	0	梅毒	1	143	96
	急性脳炎	1	21	14	播種性クリプトコックス症	1	1	4
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	破傷風	0	1	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	1	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	12	10	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0
	後天性免疫不全症候群	0	6	8	百日咳	0	0	5
	ジアルジア症	0	0	0	風しん	0	0	0
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	麻しん	0	0	0
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0
	新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症 ※4						
指定感染症	該当する疾患はありません							

2022年11月8日 15:00集計

※1 累計は診断日で集計しています。

※2 2021年累計は速報値となっています。

※3 結核は月ごとに、「さいたま市感染症発生動向調査(結核月報)」(<https://www.city.saitama.jp/002/001/008/001/006/p007261.html>)に掲載します。

※4 発生状況については、さいたま市ホームページ(<https://www.city.saitama.jp/002/001/008/006/013/001/p079716.html>)に掲載しています。

感染症発生動向調査 週情報（患者報告数、定点当たり報告数、年齢階級）

（2022年第44週 令和4年10月31日～11月6日）

	報告数	定点当たり	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80歳-	
インフルエンザ #1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	報告数	定点当たり	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20歳-							
RSウイルス感染症	18	0.69	4	1	-	7	2	3	1	-	-	-	-	-	-	-							
咽頭結膜熱	1	0.04	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	0.08	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-							
感染性胃腸炎	114	4.38	1	2	16	19	14	12	10	10	7	2	4	12	-	5							
水痘	7	0.27	-	-	1	-	1	-	-	-	1	1	-	3	-	-							
手足口病	13	0.50	-	1	5	3	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-							
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
突発性発しん	7	0.27	-	3	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-							
ヘルパンギーナ	1	0.04	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
流行性耳下腺炎	1	0.04	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-							
	報告数	定点当たり	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70歳-		
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	報告数	定点当たり	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70歳-					
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
インフルエンザによる入院患者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
ロタウイルスによる感染性胃腸炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					

（ - : 0 ）

#1 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く

#2 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く

#3 オウム病を除く

流行状況…  : 警報レベル、  : 注意報レベル

11月 8日 13:00 集計

グラフ総覧(2022年第44週)

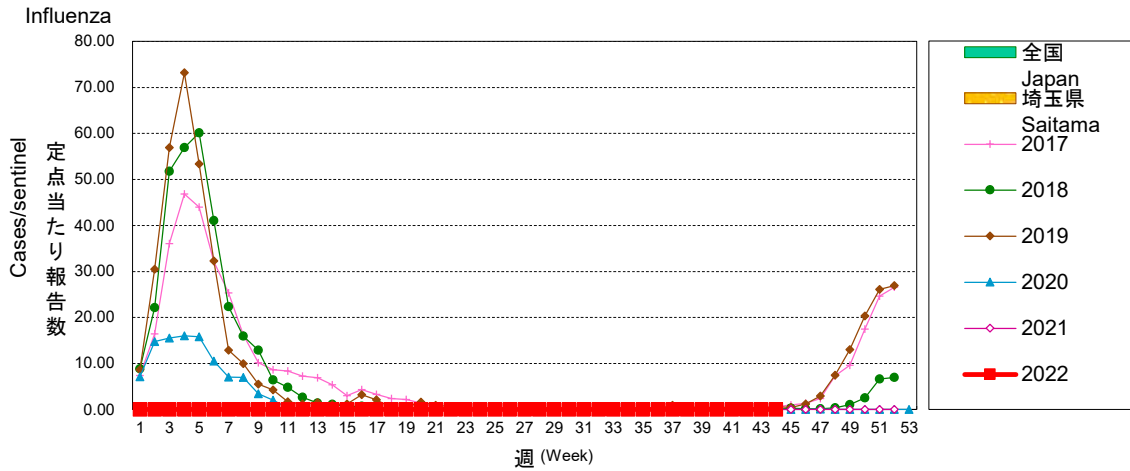
Disease trend graph (44th week, 2022)

さいたま市 定点当たり報告数グラフ

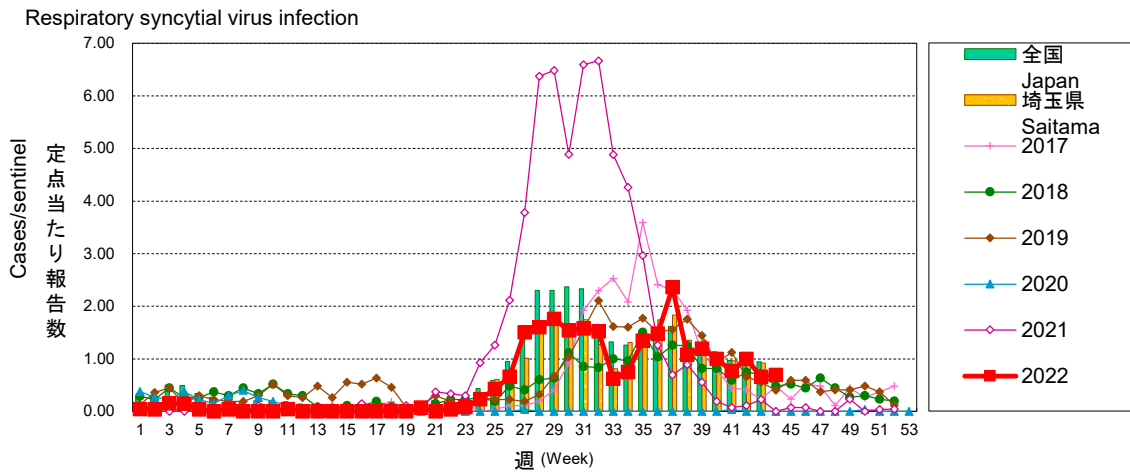
Disease Trend Graph (weekly reported cases per sentinel in comparison),Saitama City

※ 定点当たり報告数グラフの「全国」と「埼玉県」については、当該週の前週までを掲載しています。

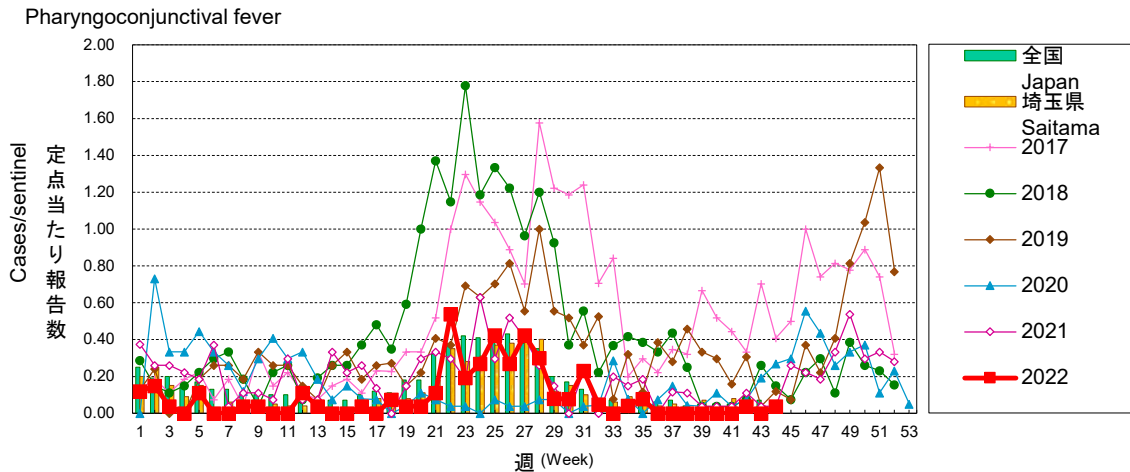
インフルエンザ



RSウイルス感染症



咽頭結膜熱

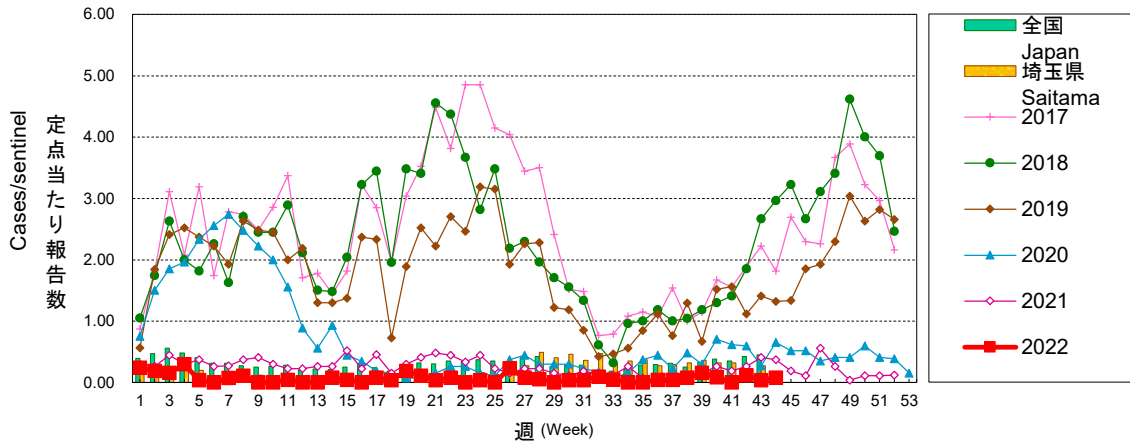


さいたま市 定点当たり報告数グラフ

Disease Trend Graph (weekly reported cases per sentinel in comparison),Saitama City

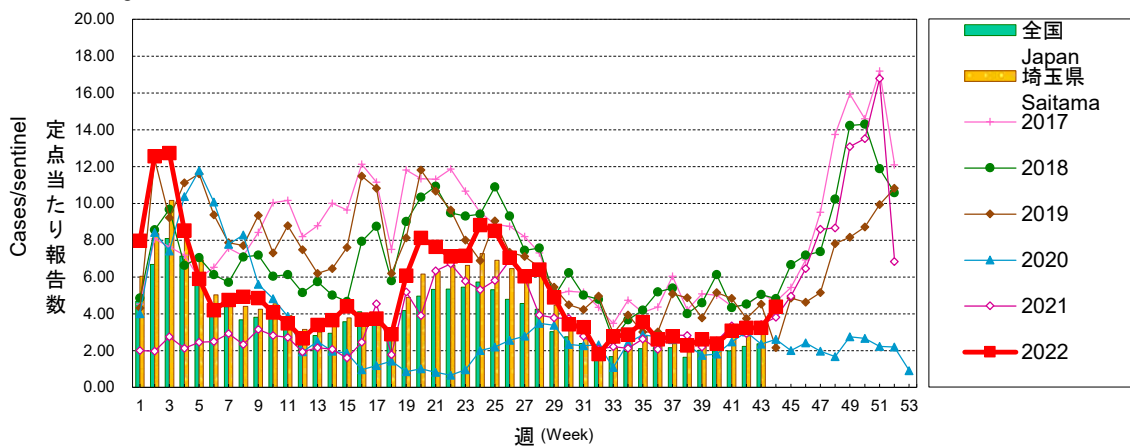
**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**

Group A streptococcal pharyngitis



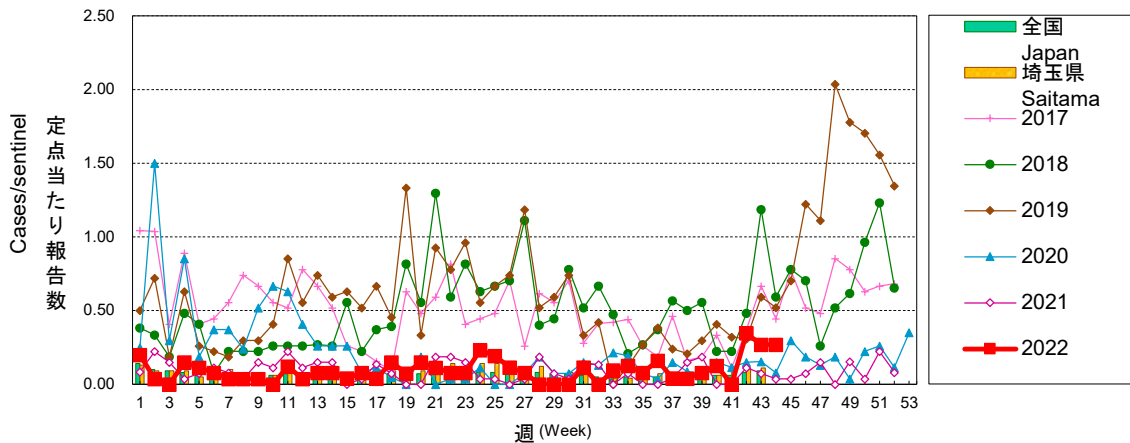
**感染性胃腸炎**

Infectious gastroenteritis



**水痘**

Chickenpox

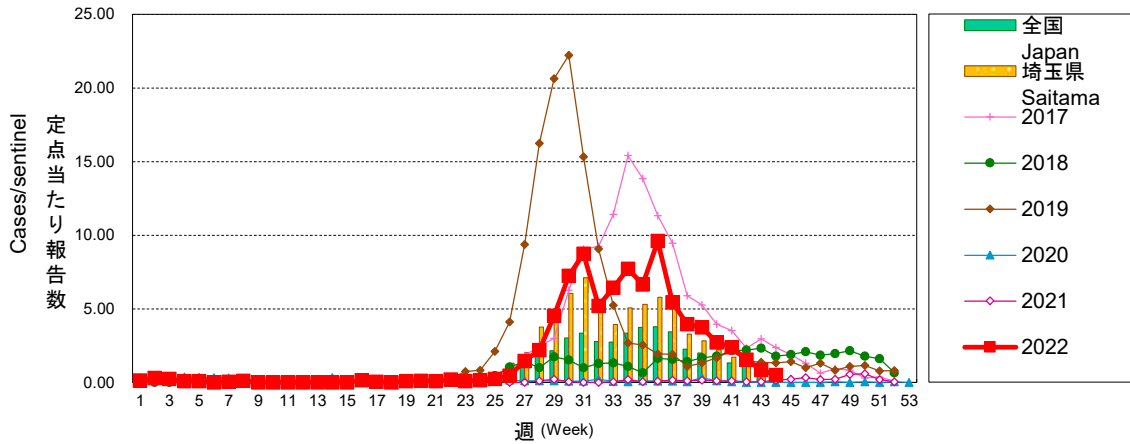


さいたま市 定点当たり報告数グラフ

Disease Trend Graph (weekly reported cases per sentinel in comparison),Saitama City

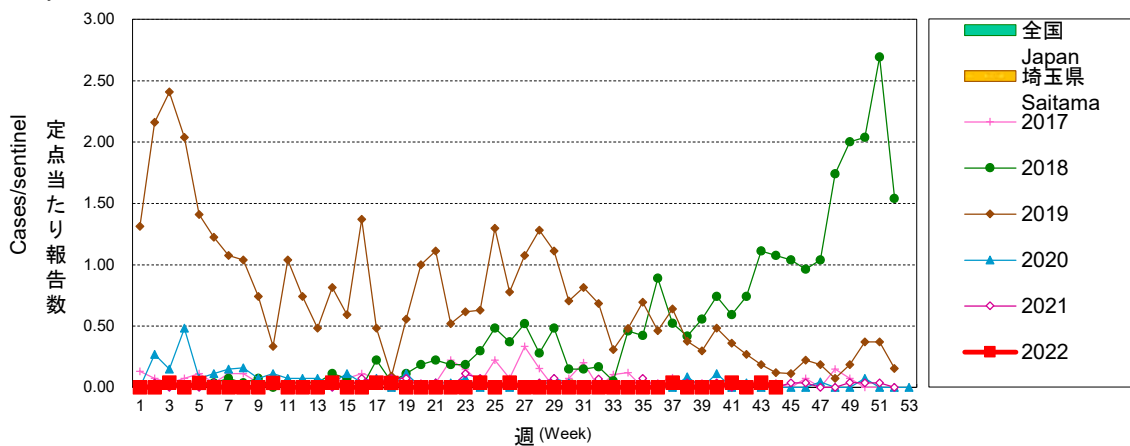
手足口病

Hand, foot and mouth disease



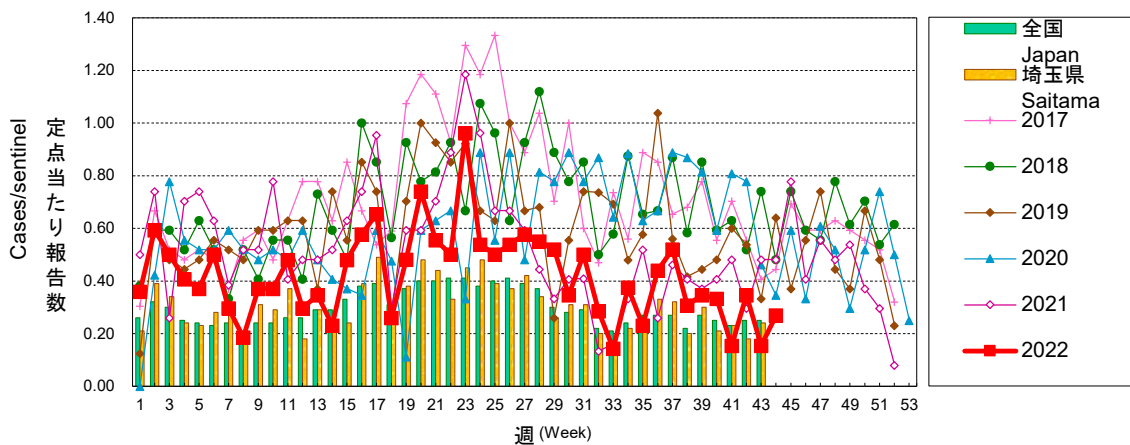
伝染性紅斑

Erythema infection



突発性発しん

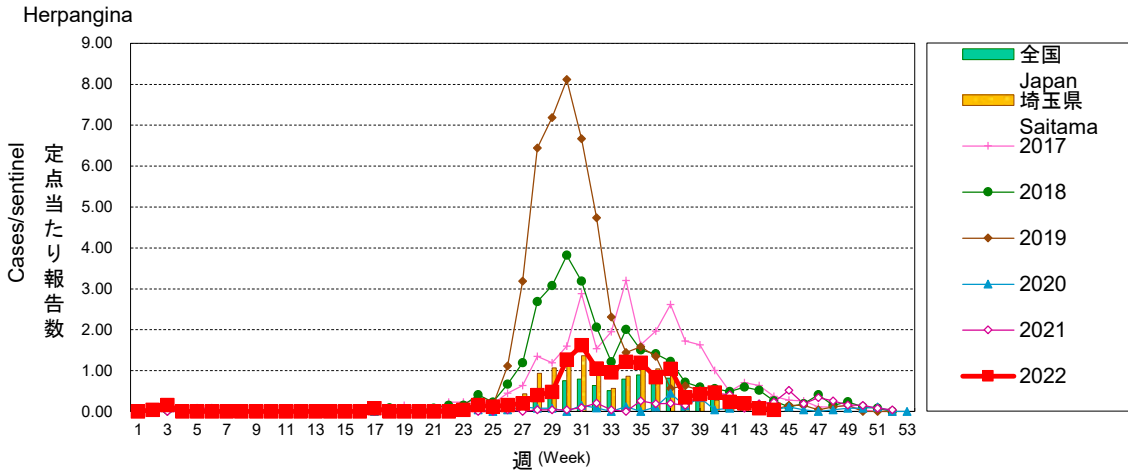
Exanthem subitum



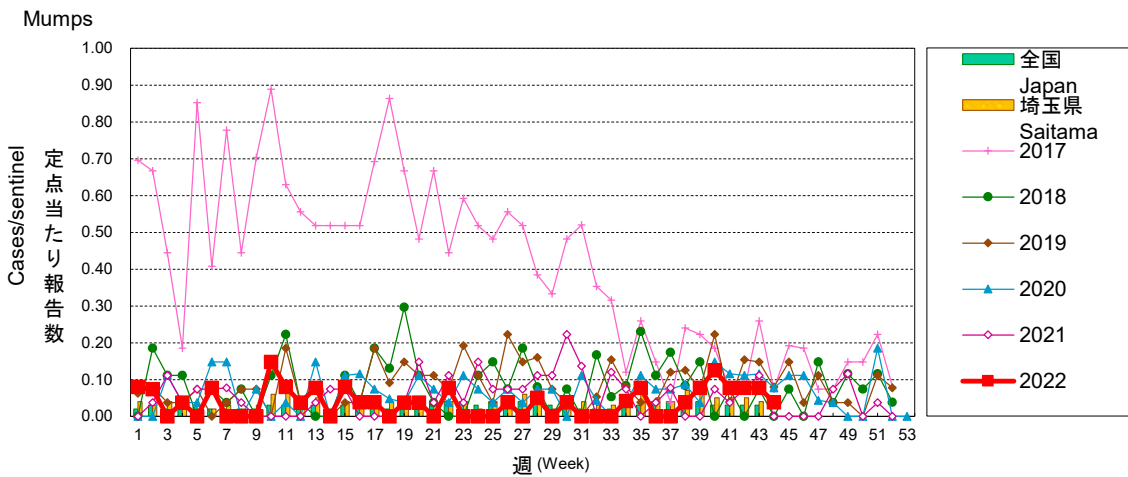
さいたま市 定点当たり報告数グラフ

Disease Trend Graph (weekly reported cases per sentinel in comparison),Saitama City

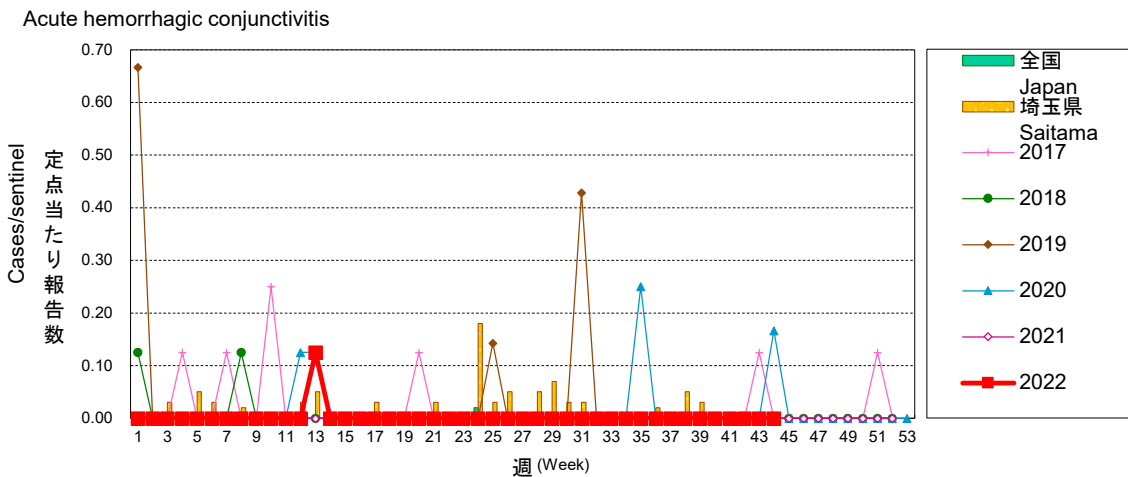
ヘルパンギーナ



流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

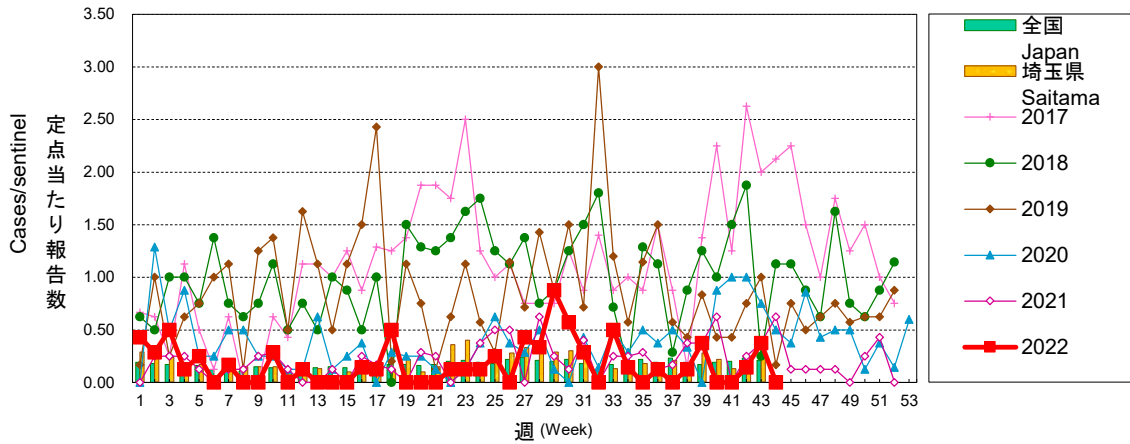


さいたま市 定点当たり報告数グラフ

Disease Trend Graph (weekly reported cases per sentinel in comparison),Saitama City

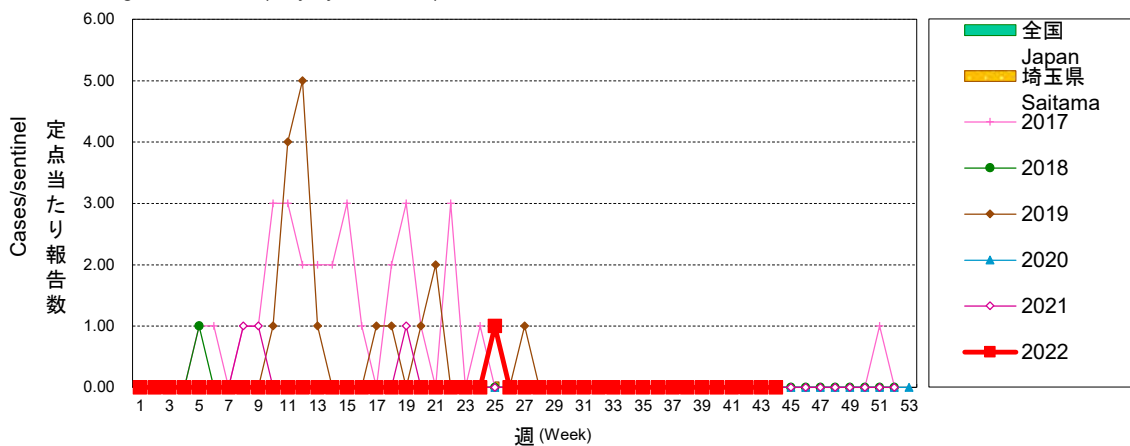
流行性角結膜炎

Epidemic keratoconjunctivitis



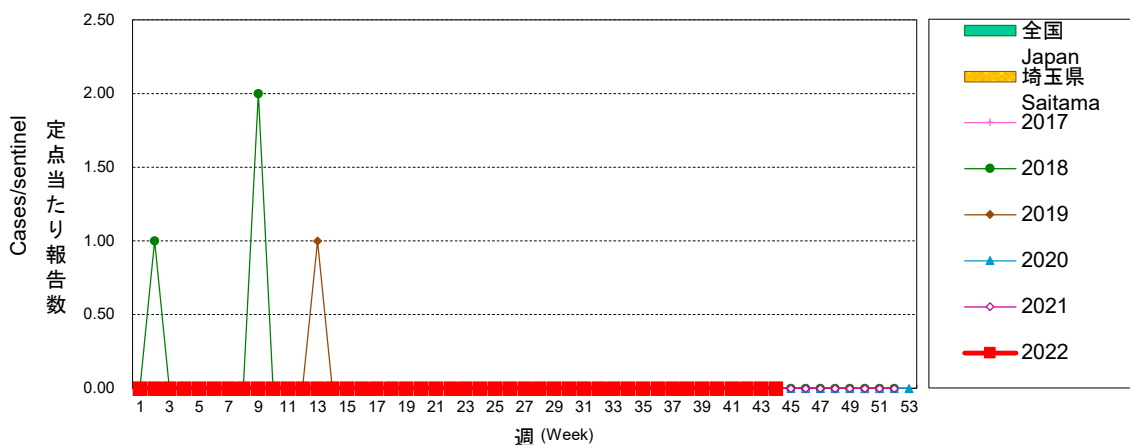
感染性胃腸炎(ロタウイルス)

Infectious gastroenteritis (only by Rotavirus)



クラミジア肺炎

Chlamydial pneumonia



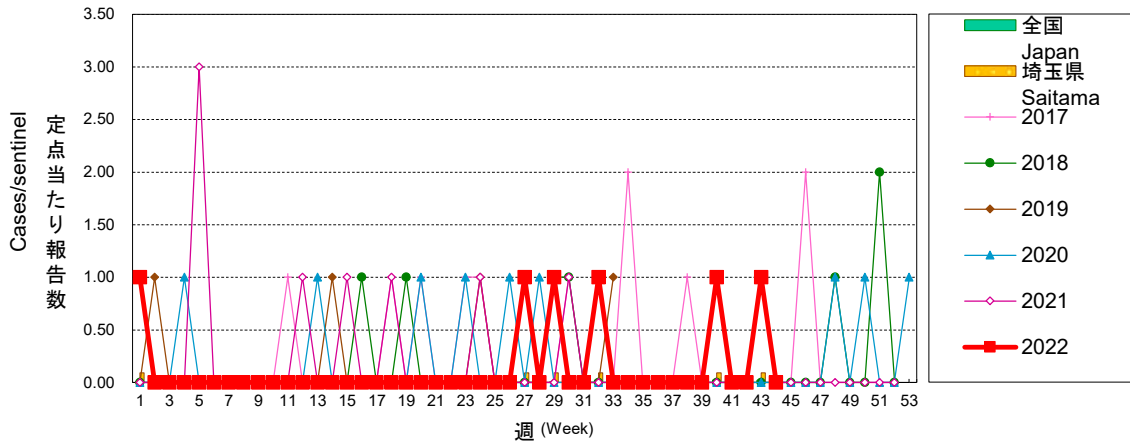


さいたま市 定点当たり報告数グラフ

Disease Trend Graph (weekly reported cases per sentinel in comparison),Saitama City

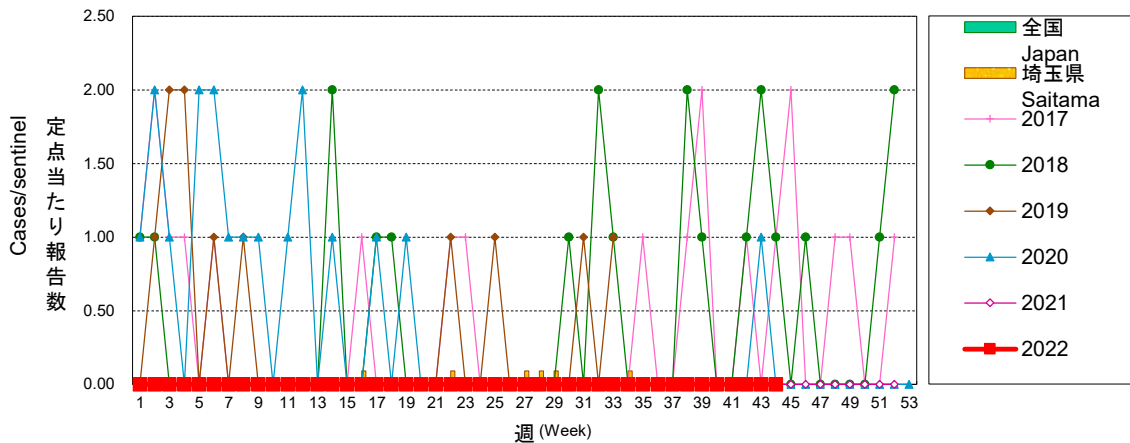
細菌性髄膜炎

Bacterial meningitis



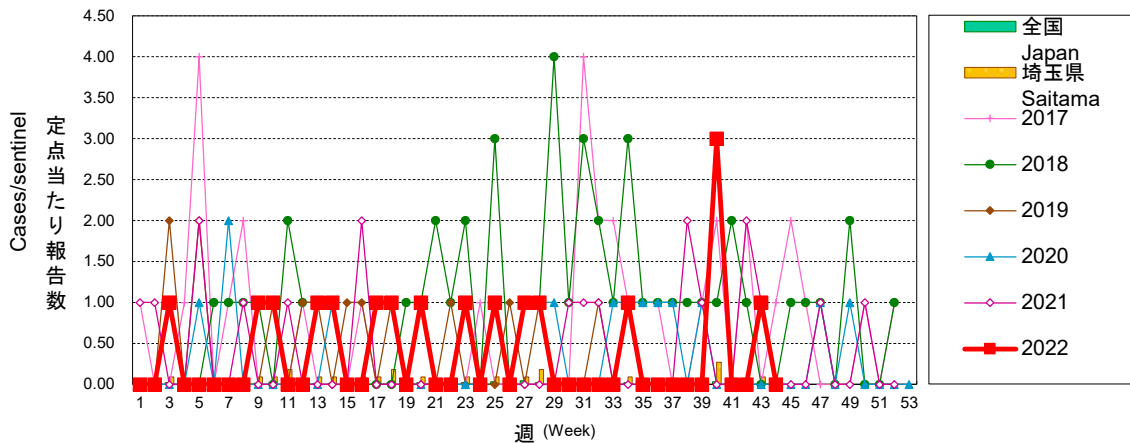
マイコプラズマ肺炎

Mycoplasma pneumonia



無菌性髄膜炎

Aseptic meningitis

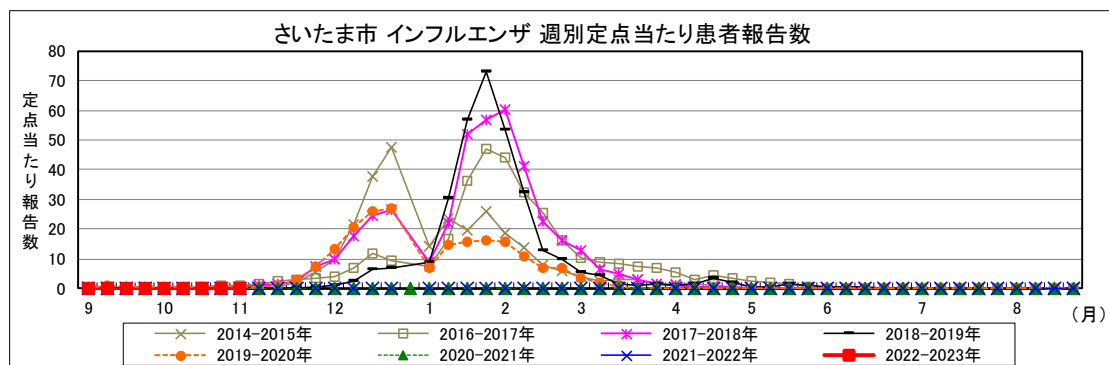


## 今冬のインフルエンザ対策について

季節性インフルエンザは流行性があり、日本では例年12月～3月が流行シーズンですが、新型コロナウイルス感染症の流行が始まった2020年以降、患者報告数が大きく減少しました。

さいたま市内でも2019-2020年シーズンまでは12月～3月の間に流行のピークがありました。が、2020-2021年シーズン以降の患者報告はほとんどありませんでした(下図)。

一方、南半球のオーストラリアでは2022年4月後半からインフルエンザの流行が報告されており、国内でも今冬には同様の流行が起こる可能性が心配されています。



※インフルエンザは通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、9月から翌年の8月までを1シーズンとして、グラフを作成しています。

### <インフルエンザを予防するために>

#### ◇ 流行前のワクチン接種

インフルエンザワクチンには発病を一定程度予防する効果と、発病後の重症化を予防する効果があります。高齢者においては34～55%、乳幼児においては20～60%の発病予防効果があったとの報告があります。

◇ 咳やくしゃみをするときは、マスクやティッシュ・ハンカチ、袖を使って、口や鼻をおさえましょう。

◇ 流水とせっけんでしっかりと手を洗いましょう。  
アルコール消毒薬による手指衛生も有効です。

◇ 室内では適切な湿度(50～60%)を保ちましょう。

◇ 十分な休養とバランスのとれた食事を心がけましょう。

◇ 人混みへの外出を控えましょう。

◇ こまめな換気が重要です。

窓開けによる換気のほか、台所や洗面所、浴室の換気扇も活用しましょう。

新型コロナウイルス対策として普及した手指衛生やマスクの着用、3密回避等はインフルエンザの感染予防にも有効であり、基本的な感染症対策を普段から心がけることが重要です。

さいたま市健康科学研究センター (さいたま市感染症情報センター)  
TEL:048-840-2250 FAX:048-840-2267